

令和元年(2019年)9月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書(2日目)

令和元年9月9日(月)

割当時間(答弁を除く)

}	公明党	35分
	自民党	30分
	なは立志会	20分
	なはのみらい	10分
	維新・無所属の会	10分
	無所属の会	10分

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	糸数昌洋 (公明党)	1 防災行政について	<p>(1) 防災体制機能の強化について 先日の九州北部豪雨をはじめ、近年、災害が激甚化・頻発化し各地で大きな被害をもたらしている。全国的に防災体制機能の強化は待ったなしの最優先課題として社会の主流となりつつある。本市における防災体制機能の強化について、現状の取り組みと今後の課題を問う</p> <p>(2) 浸水危険個所に対する対応について 台風や集中豪雨による浸水被害への対策は急務である。本市の浸水危険個所に対する対応を問う</p> <p>(3) 学校避難所の防災機能について 学校避難所の防災機能に関する文科省の調査結果が公表された。本市の調査結果と今後の対応について問う</p>
		2 中心市街地の活性化について	<p>(1) 県都那覇市の振興に関する協議会の再開に向けた取り組み状況について 我が会派は昨年12月及び本年2月定例会において、那覇軍港の移設問題に関連して「県都那覇市の振興に関する協議会」の早期開催について取り上げた。特に2月定例会での桑江豊議員の代表質問では、県都那覇の振興事業として、中心市街地の活性化に資する第一牧志公設市場再整備の事業予算確保の観点から協議会開催を関係機関に働きかけるよう強く求めてきた。その後の進捗について問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 消費税率引き上げに伴う対応について</p> <p>4 幼児教育・保育の無償化について</p> <p>5 保育行政について</p>	<p>(2) 沖縄振興特定事業推進費の活用について 第一牧志公設市場再整備事業に沖縄振興特定事業推進費が活用されるとのことだが、補正予算計上に至る経緯と当該推進費の制度概要について問う</p> <p>(1) 年金生活者支援給付金について 年金額が少ない受給者に一定額を上乗せする「年金生活者支援給付金制度」が10月からスタートする。制度の概要と本市における対象者数及び周知方法について問う</p> <p>(2) 軽減税率対応レジの普及について 軽減税率に対応したレジ導入などを支援する軽減税率対策補助金について、9月末までにレジ購入の契約手続きを済ませれば支給できるよう交付要件が緩和された。本市における申請状況について問う</p> <p>公明党の強力な推進によって来月から国の幼児教育・保育の無償化が始まる。全国で約300万人の子どもが対象となる幼保無償化は、日本の社会保障の歴史的転換点とも評されており、本市においても万全な取り組みが求められている</p> <p>(1) 対象者及び対象範囲と手続き等について問う</p> <p>(2) 利用施設ごとの対象者数と補正予算の内訳について問う</p> <p>(3) 給食費(食材料費)の取り扱いと負担減免について問う</p> <p>保育所待機児童の現状と対応及び今後の取り組みについて問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>6 子どもの貧困対策について</p> <p>7 会計年度任用職員制度について</p> <p>8 個人情報の取り扱いについて</p> <p>9 認定こども園給食提供事業について</p> <p>10 財政運営の見通しについて</p>	<p>去る6月に、改正子どもの貧困対策推進法が議員立法で成立した。計画策定の努力義務が市町村にも課されることになったが、本市の方針と取り組みについて問う</p> <p>(1) 制度導入により、現行の臨時・非常勤職員の職の整理がどうなるのか。対象職と対象者数を問う</p> <p>(2) 制度導入のメリットと今後の課題について問う</p> <p>(3) 財政負担について問う</p> <p>那覇市立中央図書館による捜査当局への利用者情報の提供問題について、一連の報道に関する事実関係の詳細と対応への認識を問う</p> <p>報道によると、本市の公立認定こども園17園中10園において、給食への異物混入が相次いでいるとのことだが、事実関係の詳細と対応について問う</p> <p>市民会館や市立病院等の大型施設の更新や職員人件費の増など、財政負担の増大に伴う本市の今後の財政運営の見通しについて、今後想定される状況と対応について認識を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長</p>

代表質問（2日目） 令和元年9月9日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	大城 幼子 (公明党)	<p>1 災害弱者対策について</p> <p>2 ひとり親家庭支援について</p> <p>3 動物愛護行政について</p>	<p>災害のとき自力で避難することが困難な「避難行動要支援者」対策について、対象者へ同意書と個別避難計画書を送付する事業が10月から始まる。詳細を載せた「防災ゆいまーる特別号」が「広報なは市民の友9月号」に折り込まれ全戸配布されている。以下伺う</p> <p>(1) 事業概要と事業化に至った背景を伺う</p> <p>(2) 事業から得られる期待と効果について伺う</p> <p>(1) 「児童扶養手当法」が一部改正され支払い回数が年3回から年6回に見直され、ことし11月から開始する。那覇市の取り組み状況と周知について伺う</p> <p>(2) 未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金支給事業の概要及び対象と申請状況を伺う</p> <p>ことし6月12日に成立した改正動物愛護管理法について、主な改正内容と那覇市の取り組みについて伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、関係部長</p>

代表質問（2日目） 令和元年9月9日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	栗國彰 (自民党)	<p>1 SDGs2015 について</p> <p>2 パートナーシップについて</p> <p>3 市制 100 周年記念事業について</p>	<p>SDGs2015 年の国連サミットで採択された持続可能な開発プランは、2030 アジェンダに記載された。本市の SDGs 取り組みの見解を伺う</p> <p>本市としてパートナーシップ制度導入に何組登録されたか</p> <p>市制 100 周年記念事業イベントについて</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

代表質問（2日目） 令和元年9月9日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	大嶺 亮二 (自 民 党)	<p>1 那覇軍港について</p> <p>2 東京オリンピック・パラリンピック開催について</p> <p>3 健康なは21(第2次)中間評価報告書(案)について</p>	<p>(1) 現在の状況を伺う(面積・地権者・地料など)</p> <p>(2) これまでの経緯を伺う</p> <p>(3) 跡地利用について</p> <p>(1) どのように思っているのか</p> <p>(2) 事前合宿誘致への取り組みについて伺う</p> <p>(3) 本市に関係する出場選手のリサーチ。また、その支援・応援を考えているか伺う</p> <p>(1) 主な目標項目の評価のポイントについて</p> <p>(2) 課題点と今後の取り組みについて</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

代表質問（2日目） 令和元年9月9日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	新垣 淑豊 (自民党)	<p>1 老人福祉政策について</p> <p>2 中心市街地について</p> <p>3 職員の会計年度任用制度について</p> <p>4 こども園の給食について</p>	<p>市内の地域包括支援センターについて伺う</p> <p>(1) 地域包括支援センターの役割をどのように考えているか</p> <p>(2) 12圏域から18圏域となり、どのような影響があったか</p> <p>(3) 各センターの運営法人の施設単位での収支状況について</p> <p>公設市場周辺について伺う</p> <p>(1) 公設市場周辺の活性化施策について</p> <p>(2) アーケードの現在の状況について</p> <p>(3) 那覇市のアーケード整備への対応の進捗について</p> <p>(4) 市民からの要望と課題について</p> <p>会計年度任用職員制度について伺う</p> <p>(1) 予見される人件費の金額について</p> <p>(2) 現在、行われている職員団体との協議についてどのような状況であるのか</p> <p>那覇市のこども園の給食への異物混入について伺う</p> <p>(1) 何が原因であったのか当局の見解</p> <p>(2) 今後の対応について</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

代表質問（2日目） 令和元年9月9日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	仲松 寛 (なは立志会)	<p>1 那覇広域都市計画区域について</p> <p>2 那覇市の「ファシリティマネジメント」について</p>	<p>県は県内7つの区域を「都市計画区域」に定めているが、その中で、那覇市をはじめとする11市町村で構成する「那覇広域都市計画区域」において、同区域に所属している北中城村、中城村が「中部広域」への移行を県に要望している。広域都市行政への取り組みの観点から「那覇広域都市計画区域」に関して以下を問う</p> <p>(1) 県の定める「広域都市計画区域」とはどのようなものか、また「那覇広域都市計画区域」の意義及び役割について伺う</p> <p>(2) 今般、「市街地区域」と「市街地調整区域」に関する協議会が新たに設置されたが、どのような協議がなされているのか伺う</p> <p>(3) 広域都市計画について那覇市は県に対して、これまでどのような要望を行ってきたのか、また「中部広域」への移行を望む中城村、北中城村の要望についてどのような考え方を持っているのか伺う</p> <p>(4) 広域都市行政への取り組みの観点から「平成の市町村大合併」をどのように評価しているか伺う</p> <p>(5) 「那覇広域都市計画区域」に令和時代の新たな広域行政のあり方として、「那覇市周辺離島」を「那覇広域都市計画区域」に取り込む考えはないか伺う</p> <p>那覇市の所有財産を総合的に企画・計画・管理する経営手法「那覇市ファシリティマネジメント推進方針（那覇市公共施設等総合管理計画）」は、40年間を視野に2015年に策定され、2016年から本格的に導入されているが、当初の計画より予算規模が膨れ上がった「新市民会館建設」をはじめとする公共事業や需要が年々増大する社会保障関係の扶助費等、計画策定から5年目にして想定した環境の変化が散見できる。よって、「ファシリティマネジメント」に関して以下を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みについて</p>	<p>(1) 庁内組織である基本システム改革部会において市有施設の建て替え、新設、民間施設利用などが検討されていると思うが、今後10年以内に対象となる公共施設はどれくらいあるか伺う</p> <p>(2) ファシリティマネジメントの観点から、真和志地域に新設予定の公共施設、旧市民会館跡利用及び新公共交通システム次世代路面電車(LRT)の進捗状況及び同施設の建設・経営・運営について基本的な考え方を伺う</p> <p>(3) 平成24年(2012年)に沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金)、沖縄振興公共投資交付金(ハード交付金)、いわゆる一括交付金が創設され、那覇市もこの交付金を公共事業等に大いに活用してきたが、令和4年(2022年)3月には沖縄振興特別措置法と同時に時限立法の期限を迎える。一括交付金制度がなくなった場合、ファシリティマネジメントの観点から那覇市にはどのような影響が予測されるか伺う</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック開催まで約1年と迫った。那覇市におけるホストタウン、聖火リレー等への取り組みについて伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

代表質問（2日目） 令和元年9月9日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	奥間 綾乃 (なは立志会)	<p>1 外国人観光客の医療対応について</p> <p>2 LGBT人権問題について</p> <p>3 農業行政について</p>	<p>世界中から観光客が訪れるようになった我が県であるが、同時にけがや事故、病気で救急医療を必要とするケースも相次いでいる。以下伺う</p> <p>(1) 本市において過去3年間、救急搬送が必要となった外国人観光客の数と主な理由を伺う</p> <p>(2) 市内における救急指定病院は何カ所か。また、医療費の未収の状況と金額、未収の場合の回収方法を伺う</p> <p>(3) 救急通報の多言語対応システムや救急隊の対応マニュアルなどあるか伺う</p> <p>去った1日に第7回目を迎えたピンクドット沖縄。LGBTへの理解と共生の輪はどんどん広がってきている。その反面、同性愛や性的指向などを本人の了解なく第三者に漏らす「アウンティング行為」が問題となっている 本市の対応と今後の課題を伺う</p> <p>近年、地球規模で考える環境保全や食料自給について新たな取り組みが世界はもとより日本各地でも行われている。以下伺う</p> <p>(1) 本市内の農業の実態について伺う</p> <p>(2) 農水省が取り組む「スマート農業」について市の見解を伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

代表質問（2日目） 令和元年9月9日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	坂井 浩二 (なはのみらい)	<p>1 少子高齢化 対応社会の構 築について</p> <p>2 認知症対応 策について</p> <p>3 子どもの安 全安心につい て</p> <p>4 子どもの権 利について</p>	<p>本市における少子高齢化の実情と今後について以下伺う</p> <p>(1) 本市人口のこれまでの推移と今後の動態予測を伺う</p> <p>(2) 本市在住児童・生徒の過去5年間総数と人口割合を伺う</p> <p>(3) 本市在住高齢者の過去5年間総数と人口割合を伺う</p> <p>(4) 人口減少が本市に及ぼす影響・懸念を本市はどのように捉えているか</p> <p>本市在住の認知症高齢者数と割合、また現状の対応策について伺う</p> <p>本市が実施する給食事業における異物混入の実情について伺う</p> <p>(1) 国連採択がなされている「子どもの権利条約」について本市が捉える意義と見解を伺う</p> <p>(2) 本市の掲げる「子どもの街宣言」制定の経緯と意義について伺う</p> <p>(3) 「那覇市子どもの権利条例」を制定すべきである 城間市長の認識と見解を伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

代表質問（2日目） 令和元年9月9日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
9	當間 安則 (維新・無所属の会)	<p>1 内閣府の沖縄関係予算について</p> <p>2 第一牧志公設市場再整備事業について</p>	<p>内閣府は、2020年度の沖縄関係予算の概算要求額を3年連続同額の3,190億円とする方針とした。沖縄振興一括交付金も1,188億円と過去最少となった。以下伺う</p> <p>(1) 今回の概算要求額について、市長の見解を伺う</p> <p>(2) 予算確保のため、県と市町村との意見交換会について伺う</p> <p>(3) 今年度の一括交付金の確保金額、主要事業について伺う</p> <p>(4) 沖縄振興特定事業推進費の活用状況について伺う</p> <p>賑わうマチグラー、頑張るマチグラーづくりの中心である第一牧志公設市場再整備事業は、現在、仮設市場への移転、営業が始まり2カ月以上が経った。今年度中の旧市場解体完了を目指すことを承知している。以下伺う</p> <p>(1) 仮設市場の問題と対策について伺う</p> <p>(2) 旧市場周辺の問題と対策について伺う</p> <p>(3) 旧市場の解体工事の進捗と今後のスケジュールについて伺う</p> <p>(4) アーケードの設置基準と建築基準法の関係性及び今回の再整備の問題について伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		3 給食の異物混入について	<p>今般、安全・安心な給食であるべき市内の認定こども園の給食に異物混入が連続し、問題となっている。以下伺う</p> <p>(1) 現状と原因、本市の見解を伺う</p> <p>(2) 認定こども園 17 園の給食の提供状況について伺う</p> <p>(3) 栄養教諭の役割について伺う</p> <p>(4) 異物混入に対応するマニュアル策定について伺う</p> <p>(5) 今後の再発防止、対応について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、関係部長</p>

代表質問（2日目） 令和元年9月9日（月）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
10	中村圭介 (無所属の会)	子どもの貧困 対策事業について	<p>(1) 子どもの貧困対策の推進に関する法律の一部改正に伴い、市町村にも計画策定の努力が求められる。本市の対応を問う</p> <p>(2) 平成29年2月定例会で、本員の質問に対し「国や県の補助事業などにおきましては、統一的な成果報告を求められておりますけれども、実施している事業ごとの特徴を踏まえた目標管理、指標等の設定は重要であり、進捗管理を行う上でも必要であるものと考えております。今後は、庁内の推進会議ですとか、あるいはそのもとに設置をいたしました部会において、しっかり検討してまいりたい」という答弁があった。その後の取り組みを問う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>